

国際アマモ・ブルーカーボン ワークショップ2023への ご協賛のお願い



国際アマモ・ブルーカーボン
ワークショップ2023
実行委員会代表 海辺つくり研究会・古川恵太

国際アマモ・ブルーカーボンワークショップとは

市民を含む多様な主体によるアマモ場の再生への取組みが本格化し始めまた2000年代以降の活動を総括し、広く社会に発信するとともに、より多くの人々とのネットワークを強化し、わが国および世界のブルーカーボン生態系の保全・再生の取組を加速させていくための国際ワークショップです。

国際的に活躍する研究者・実践者、国内の多様な関係者からの発表や意見交換の場を提供いたします。

国際ワークショップ・全国アマモサミット経緯

- 2005年11月：横浜国際ワークショップ（横浜市）
- 2006年12月：アマモサミット・プレワークショップ
2006（横浜市）
- 2007年12月：第5回横浜・海の森づくりフォーラム（横浜市）
- 2008年12月：全国アマモサミット 2008（横浜市）
（以後、毎年「全国アマモサミット」として開催）
- 2013年11月：第6回大会（塩釜市）より海辺の自然再生・高校生サミットと同時開催
- 2023年10月：第15回大会「全国アマモサミット2023 in ふくおか」（福岡市）開催予定



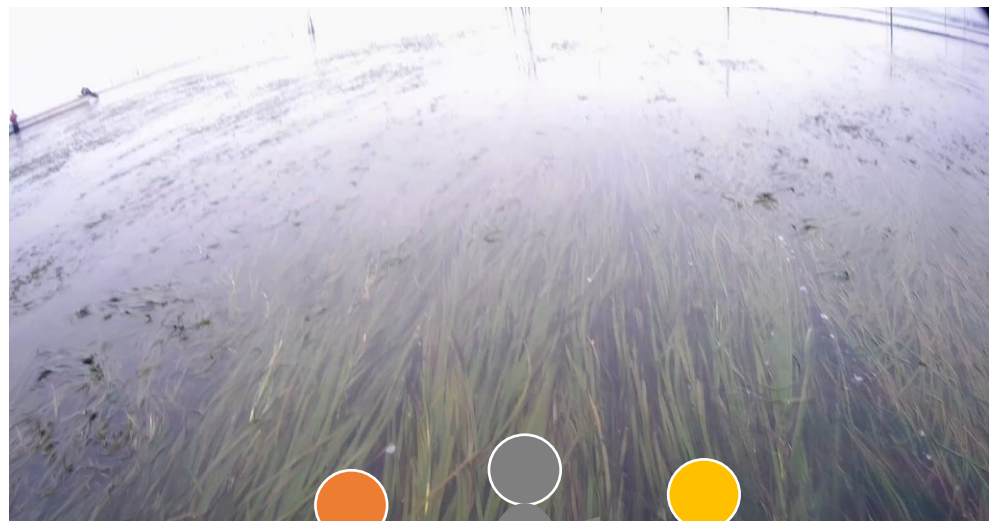
- 2008年 第1回 神奈川県横浜市
- 2009年 第2回 鳥取県米子市
- 2010年 第3回 鹿児島県指宿市
- 2011年 第4回 大阪府大阪市
- 2012年 第5回 福井県小浜市
- 2013年 第6回 宮城県塩竈市
- 2014年 第7回 青森県青森市
- 2015年 第8回 熊本県八代市
- 2016年 第9回 岡山県備前市（日生）
- 2017年 第10回 三重県志摩市
- 2018年 第11回 大阪府阪南市
- 2019年 第12回 宮城県塩竈市
- 2020年 中止
- 2021年 第13回 青森県青森市
- 2022年 第14回 千葉県館山市
- 2023年 第15回 福岡県福岡市



国際アマモ・ブルーカーボンワークショップ2023の目指すところ

ワークショップでは、**ブルーカーボン生態系（BC生態系：特にアマモ場）**の再生に焦点を当て、以下の点についての議論を深めたいと考えています。

1. BC生態系の**生物多様性保全の場**としての機能
2. BC生態系による**炭素固定**の考え方（新たな吸収係数、クレジット化）
3. BC生態系再生活動による**市民参加型の社会変革**とその手法整理
4. CSR・活動助成にとどまらない**企業の主体的参画**の推進
5. 脱炭素化、生物多様性戦略、OECMなど**行政施策との連携**、推進
6. 将来の活動の鍵となる**若者や漁業者、企業**からのメッセージ発信
7. 国内外のBC研究者、実践者、地域機関との**ネットワークの強化**



主な成果物（いずれも、日本語・英語での作成）

- ・ 国内外の活動をまとめた発表要旨集
- ・ 今後**10年**の行動指針となる宣言
- ・ その宣言を実行するための（仮称）アマモ再生ガイドライン

主な日程

国際アマモ・ブルーカーボンワークショップ2023

11月17日（金）			11月18日（土）			11月19日		
1 日 目	午前	開会 基調講演（世界の最新情報） パネル討論（アマモ場・BC生態系の大切さ）	2 日 目	午前	基調講演（日本の最新情報） セッション ・水産／企業 ・市民／若者 ・科学コミュニケーション 公開討論	3 日 目	午前	基調講演（社会変革） セッション ・各国の挑戦
	午後			午後	参加型ワークショップ まとめ・宣言 閉会			
	夕刻			交流会（立食）	夕刻		交流会（屋形船）	夕刻

関連会議：国際COAST Cardワークショップ in Tokyo Bay

11月19日（日）		11月20日（月）		11月21日（火）	
1 日 目	国際アマモ・ブルーカーボンワークショップ2023 と同プログラム （共同開催）	2 日 目	ワークショップ （20名程度の小規模なグループワーク）	3 日 目	東京湾見学会 （40名規模のバスツアー）

会場



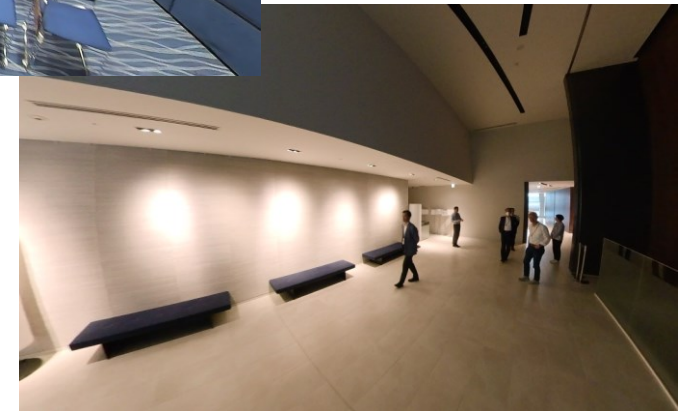
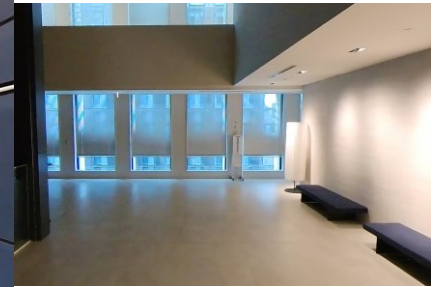
笹川平和財団ビル（東京都港区）は、元・海洋船舶ビル跡地に2015年に建設されました。

笹川平和財団は、21世紀の人間社会の複層的・複雑化した課題に取り組む日本の民間財団として、我が国と諸外国とのあらゆるレベルでの連携を推進しています。



国際会議場

- ・同時通訳設備付き
- ・前方平場席：150席
- ・後方階段席（収納式）：144席



笹川平和財団ビル 国際会議場

〒105-8524 東京都港区虎ノ門1-15-16 笹川平和財団ビル11階

電話：03-5157-5430 F A X：03-5157-5420

ご協賛から生まれる価値

世界を上げて喫緊に取り組まなければならない課題として、気候変動への対応、生物多様性の劣化、人々の安全・安心の確保が挙げられます。アマモ場を始めとするブルーカーボン生態系の現状を知り、保全・再生を推進することは、これらの課題への数少ない有効な取り組み方策です。そうした活動の環を広げることを目指す「国際アマモ・ブルーカーボンワークショップ2023」にご協賛いただき、それをきっかけとして、具体的方策を実現していくための活動にご参画ください。



ご協賛プラン

	社名・団体名 掲載※1	広告掲載※2	バナー作成・ 掲示※3	資料展示※4	休憩時間など にCM映像放 映※5	協賛講演枠の ご提供※6	報告書のご送 付※7	関連会議への 参加枠※8
協賛A 10万円	○	社名・団体名 のみ	600x2000 mm 1台				1冊	
協賛B 25万円	○	1/4ページ	900x2000 mm 1台	○			2冊	
協賛C 30万円	協賛Bと同条件ただし、社名・団体名、広告掲載にあたり「高校生の参加を応援しています」と明記させていただきます。							
協賛D 50万円	○	1/2ページ	1200x2000 mm 1台	○	○		5冊	
協賛E 100万円	○	1ページ	1200x2000 mm 2台	○	○	○	10冊	1名分
協賛F 100万円以上	別途ご相談							

協賛C以上では、社名・団体名、広告掲載にあたり「高校生の参加を応援しています」と明記させていただきます。

※1：2023年5月末までに開設される会議Webページ・チラシに「ご協賛企業・団体名」を掲載いたします。

※2：予稿集などの会議冊子に、ご協賛企業・団体の広告（要・原稿ご提供）を掲載いたします。

※3：上記サイズのパナーを作成（要・原稿ご提供）、会場に「ご共催企業・団体」として掲示いたします。

※4：会場での資料展示のためのスペースを確保（ホアイエに机600x1800mm相当を準備）いたします。

※5：会場およびオンライン配信において、CMを放映（30秒～1分程度、要・素材ご提供）いたします。

※6：事例発表において、貴社・貴団体の取組みについての発表枠を確保（10分程度、発表セッションについては別途ご相談）いたします。

※7：事後に作成する会議報告書の製本版をお送りいたします。

※8：本会議の登壇者が参加するCOAST Card国際ワークショップの会合（11/20）、東京湾見学会（11/21）にご参加いただけます。

ワークショップイメージ



世界で活躍する研究者・実践者から、国際的な視野、学術的な情報、社会・経済的な波及などについて話題提供がなされます。

発表を聞くだけでなく、パネル討論や公開討論、ワークショップなどを通して、発表者と意見交換し、ブルーカーボンについての理解を深めることができます。



10月の全国サミットに参加した高校から選抜されたチームが英語での発表にチャレンジします。



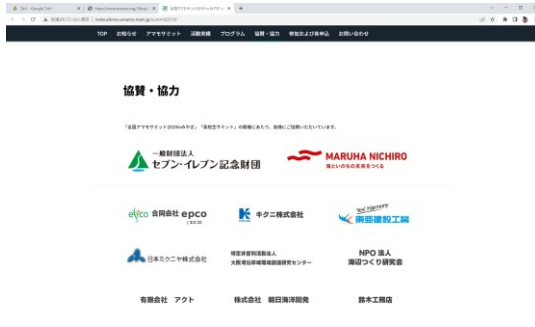
会場内やホワイエにおいて、活動のポスター展示、資料配布などを実施します。

工夫されたワークショップにより参加者は主体的に議論に参加し、行動につなげるヒントを自ら考える機会とすることができます。



ご協賛プランイメージ

幅600 mm, 1200 mm



高さ 2000 mm

大判プリント達人
LARGE FORMAT PRINT EXPERT

(全国アマモサミット2019 みやぎWebサイトより)

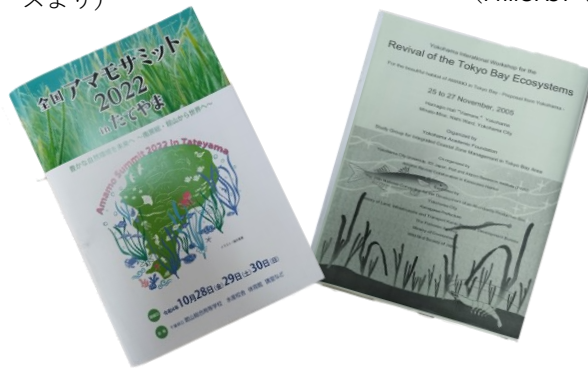
(全国アマモサミット2022 in たてやま報告書より)



(東京湾大感謝祭2022展示ブースより)

(PhiloAST ワークショップの会場映像に合成)

(東京湾シンポジウム2022より)



(全国アマモサミット2022 in たてやま報告書、
横浜国際ワークショップ東京湾の再生要旨集)

(水環境学会見学会および、PhiloCOASTワークショップより)

ぜひ、活動にご賛同いただき、ご協賛いただけますよう、ご検討ください。



東京湾UMIプロジェクトより

お問い合わせ

国際アマモ・ブルーカーボンワークショップ2023実行委員会 事務局（古川）
（NPO法人海辺つくり研究会・株式会社MAcS）
TEL: 045-321-8601
e-mail: info@amamo2023.net

お振込み先

三井住友銀行 溝ノ口支店（普通）7756876
株式会社MAcS※
（カブシキガイシャマックス）
※：国際ワークショップ事務局業務を受託している会社です

Webサイト

<https://amamo2023.com>



日本列島ブルーカーボンプロジェクトより

国際アマモ・ブルーカーボンワークショップ実施体制

実行委員会



特定非営利活動法人
海辺つくり研究会



一般財団法人
セブン-イレブン
記念財団

金沢八景－東京湾アマモ場再生会議



Japan Blue Economy
association



特別協力



事務局・実施機関



株式会社 **MAcS**

国際アマモ・ブルーカーボンワークショップ2023

日時：2023年11月17日（金）－19日（日）
場所：笹川平和財団国際会議場（東京・虎ノ門）

アマモ場・ブルーカーボン生態系の保全・再生の活動について、国際的な枠組みから、国内の実践事例まで、様々な立場の関係者が一堂に会して情報交換し、これからの5-10年の喫緊の行動指針、持続可能な世界の実現に向けた社会変革について話し合います。

プログラム案

1日目：プレナリ

開会、趣旨説明

基調講演（国際、学術、社会・経済の視点から）

パネル討論（アマモ場・BC生態系の大切さ）

2日目：セッション

BC生態系の今（国内、アジア地域、国際）

実践の最前線1,2（国内：漁業、企業、市民、若者）

実践の最前線3（科学コミュニケーション）

3日目：

社会変革に向けて（国際：COAST Cardメンバー、

地域：東アジア海域環境管理パートナーシップ）

円卓会議（これからのアマモ場再生と社会変革）

開催イメージ



2008年	第1回	神奈川県横浜市
2009年	第2回	鳥取県米子市
2010年	第3回	鹿児島県指宿市
2011年	第4回	大阪府大阪市
2012年	第5回	福井県小浜市
2013年	第6回	宮城県塩竈市
2014年	第7回	青森県青森市
2015年	第8回	熊本県八代市
2016年	第9回	岡山県備前市（日生）
2017年	第10回	三重県志摩市
2018年	第11回	大阪府阪南市
2019年	第12回	宮城県塩竈市
2020年	中止	
2021年	第13回	青森県青森市
2022年	第14回	千葉県館山市

全国アマモサミット：2008年に第1回を横浜で開催以後、各地で実行委員会形式で実施。2013年より、海辺の自然再生高校生サミットを実施。継続中

円卓会議では、世界の研究者と実践の最前線に居る多様な関係者とグループワークをします。

主催：国際アマモ・ブルーカーボンワークショップ実行委員会

共催（予定含む）：笹川平和財団海洋政策研究所、日本ブルーエコノミー技術研究組合、金沢八景・東京湾アマモ場再生会議、セブン-イレブン記念財団、日本テレビ、東京水産振興会、海辺つくり研究会他

事務局・連絡先：海辺つくり研究会・古川恵太（info@amamo2023.net）